

北海道ミライづくりフォーラム 2023
ドローンフォーラム（パネルディスカッション）
2023年11月2日（木） 16:00-16:45

コーディネーター：

DRONE FUND 最高公共政策責任者

高橋 伸太郎

イントロダクション

ドローンの社会実装をテーマに自治体の担当者とディスカッション。

- 空の産業革命に向けたロードマップ2022では、レベル4（有人地帯での目視外飛行）の先のビジョンとして、「航空機、空飛ぶクルマも含めた一体的な“空”モビリティ施策への発展・強化」を目標として設定している。
- 空飛ぶクルマの実装については、2025年の大阪・関西万博に向けて、制度設計などの環境整備が進められている。政府の万博アクションプランでも重要プロジェクトとして位置づけられている。
- ドローンや空飛ぶクルマなど、次世代空モビリティの実装を進めていくためには、中長期的なビジョンや制度設計、産業エコシステムの形成について議論を進めていくことが必要。北海道では、寒冷地における飛行環境の整備をテーマに実証実験やガイドライン整備が進められている。
- 今回のセッションでは、自治体の担当者とドローンの社会実装戦略について議論を進める。地域単位での連携体制の構築や、人材の育成、災害時の対応などをテーマにディスカッションを行う。

セッションの概要

先進的な取り組みを行っている自治体の担当者が登壇。

項目	内容
パネリスト	静岡県浜松市 長野県伊那市 北海道上士幌町
コーディネイター	DRONE FUND 最高公共政策責任者：高橋 伸太郎
日程	2023年11月2日（木） 16:00-16:45
場所	ロイトン札幌3F ロイトンホール

セッションの構成

時間	内容
2分	冒頭（登壇者の紹介）
5分	イントロダクション（セッションの趣旨・進め方について共有）
20分	ディスカッション（パネリストと議論）
10分	質疑応答（会場からの質問、登壇者による回答）
8分	総括（登壇者からまとめのコメント）

ディスカッションの内容

No.	テーマ	内容
1	地域連携	ドローンの社会実装を進めるため、事業者や教育機関、地域住民とのコミュニケーションをどのように進めているか。
2	人材育成	ドローンの利活用を担う人材を地域単位で育てるためには何が必要なのか。どのような人材が求められているのか。
3	災害対応	ドローンによる災害対応を行うには、どのような準備が求められるのか。どのような連携体制の構築が望ましいのか。